

申込書

CIO Forum 2017
ITが導く企業変革とイノベーション
～経営機能としてのITリーダーの役割～

2017年3月2日(木) 10:00～16:50／コンgresクエア日本橋 ホールA+B

▼ 下記個人情報の取り扱いに同意のもと、申込欄に名刺を貼付していただくか、必要事項を記入し、FAXでお申込ください。

申込日	2017年	月	日
-----	-------	---	---

お申込み方法

- ・申込欄にお名刺を添付していただくか、必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください。
- ・複数名でお申込みの場合、申込書をコピーの上、お一人様ずつお申込みください。
- ・お申込みされた方には、後日受講証を送付いたします。当日は受講証とお名刺をご提示の上、ご入場ください。
- ・定員になり次第、お申込みを終了いたします。予めご了承ください。

お支払い

ご登録後、順次、請求書と受講証をお送りいたします。参加料のお支払いは、請求書到着後、銀行振込で指定の事務局専用口座宛にご入金願います。

キャンセルについて

キャンセル期日は開催7日前までとなります。キャンセル希望の場合は、期日迄にEメールまたはFAXにてお知らせください。お電話でのキャンセルはお受けできません。受信後、弊社からキャンセル受領の確認をEメールまたはFAXにて返信します。以上をもって、キャンセル手続きの完了となります。開催日6日前からのキャンセルはお受けできませんので、代理の方の出席にてご対応ください。

参加料 (お一人様／税込)

¥ 28,000

氏名	フリガナ (※必ずご記入ください)		
名刺貼付枠			
会社名			業種
部署			役職
住所 〒			
TEL	FAX		
E-mail			
※お申込みの登録確認、開催のご案内を差し上げますので、出来る限りご記入ください。			
記入者氏名 (ご参加者と同じ場合は不要)	支払い担当者		

お申込みFAX番号 03-3518-6534

右記ウェブサイトからお申込みいただけます http://www.b-forum.net/cio2017

お問い合わせ 株式会社ビジネス・フォーラム事務局 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-2 センタークレストビル9F TEL:03-3518-6531 受付時間 9:30～18:00 (土・日・祝日を除きます)

個人情報の取り扱いについて

※本申込書でご提供いただく個人情報は、イベント参加申し込みを適切に受け付けて管理するため、及び弊社が提供するサービスに関する情報を電子メール等でご提供するために利用します。

※個人情報の第三者提供について：当個人情報は、以下の通り第三者に提供いたします。

【第三者に提供する目的】 本イベント主催企業、後援企業、協賛企業などに情報提供するため。

【提供する個人情報の項目】 御社名、部署名、住所、TEL、FAX、お名前、メールアドレス、他本申込書でご提供いただいた項目。

【提供の手段又は方法】 直接書面、または電子データにて提供いたします。

【当該情報の提供を受ける者又は提供を受ける者の組織の種類、及び属性】 当該情報の提供を受ける者は、本イベント主催企業、後援企業、協賛企業など。

【個人情報の取扱いに関する契約がある場合はその旨】 弊社と本イベント主催企業、後援企業、協賛企業などとの間に個人情報の取扱いに関する契約はございません。

※当個人情報の取扱いを委託することがあります。委託にあたっては、委託先における個人情報の安全管理が図られるよう、委託先に対する必要かつ適切な監督を行います。

※当個人情報の利用目的の通知、開示、内容の訂正・追加または削除、利用の停止・消去および第三者への提供の停止(「開示等」といいます。)を受け付けております。開示等の求めは、以下の「個人情報苦情及び相談窓口」で受け付けます。

※任意項目の情報のご提供がない場合、最適なご回答ができない場合があります。

<個人情報苦情及び相談窓口> (株) ビジネス・フォーラム事務局 取締役 個人情報保護管理者 松田／TEL: 03-3518-6531 (受付時間 9:30～18:00 土日祝日除く)



CIO Forum 2017
ITが導く企業変革とイノベーション
～経営機能としてのITリーダーの役割～

開催日時 2017年3月2日(木) 10:00～16:50 (受付 9:30～)

会場 コンgresクエア日本橋 ホールA+B
〒103-0027 東京都中央区 日本橋1-3-13 東京建物日本橋ビル2階
アクセス JR「東京」駅 徒歩5分、東京メトロ「日本橋」駅 B9出口 直結

参加定員 100名 (事前登録制)

参加対象 経営者、役員、CIO、経営企画、情報システム部門等の管理職の方々

開催趣旨

IT技術の進化が著しい昨今、企業の中でも業務におけるITへの依存度は高まり続けています。AI(人工知能)、IoT、ビッグデータなど先進技術をビジネスに取り入れる企業が続々と現れ、今やIT活用の領域は、既存業務の自動化・効率化のツールにとどまらず、ビジネスの中核を担っているといっても過言ではありません。企業にとっては、今後ITや先進技術をどう活用していくかが、競争力を高める重要な鍵を握っています。

このような状況において、経営に求められる役割が大きく変化しているのがIT部門です。これまでのIT部門は、システムやインフラの構築・安定運用などの業務が大部分を占めていました。しかし、基幹システムのクラウド化、業務のデジタル化など、IT技術の進化に伴い企業のデジタル・トランスフォーメーションが加速する時代において、「ITをいかに経営に役立て、企業の成長へとつなげていくか」という経営機能としてのIT戦略・企画の立案が重要度を増しています。つまり、これからのIT部門には**“ITでビジネスにイノベーションを起こす”**という経営戦略に近いミッションの遂行が求められ、企業の成長をドライブさせる部門へと、役割を昇華することが必要なのです。

当フォーラムでは、企業の競争力を高めるためのIT活用、そしてそれを担うCIOやITリーダーはじめ、IT部門の役割について、先進企業の事例を通して考察してまいります。ITでビジネスやサービスにイノベーションを起こすために、そして**経営機能として力を発揮していくために、今ITリーダーが持つべき視点やマネジメント施策**について、検証してまいります。

主催：株式会社ビジネス・フォーラム事務局 特別協賛：日本アイ・ビー・エム株式会社

発送元／お問合せ先：株式会社ビジネス・フォーラム事務局
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-2 センタークレストビル9F
TEL: 03-3518-6531 (受付時間 9:30～18:00 ※土・日・祝日を除きます) FAX: 03-3518-6534



OPEN

OPEN

2017年3月2日(木) コンgresスクエア日本橋 ホールA+B

10:00
-11:00
特別講演Ⅰ

顧客起点のデジタル変革

次世代コンビニの実現に向けたローソンのIT戦略

■ 変化にどう対応していくかー“内製化”の取り組み

■ 次世代コンビニへの進化に向けたチャレンジ

■ 今、ITリーダーに求められる役割とは

株式会社ローソン 執行役員 業務システム統括本部 副本部長 兼
株式会社ローソンデジタルイノベーション 代表取締役社長 白石 卓也 氏

プロフィール

東京大学大学院卒業後、1996年フューチャーアーキテクト入社、その後プルデンシャル生命保険、IBM、ベイカレントコンサルティングを経て、2015年4月ローソン入社。ローソンが推し進めている次世代システムの責任者を務める。2016年2月に設立したローソンデジタルイノベーション代表取締役社長を兼務。

講演内容のポイント

競争が激しさを増し、新商品・新サービスを次々と展開する等、変化し続けるコンビニエンス業界では、スピーディに環境変化に対応し、他社に先んじて顧客に新たな価値を創造することが求められています。ローソンはITを基に新たなビジネスを創る企業を目指し、2015年にIT子会社「ローソンデジタルイノベーション」を設立するなど、デジタルイノベーションに向けて舵を切っています。同社の社長として、AIなどの最先端のIT活用を含めたデジタル戦略の先に、どのような「次世代コンビニ」を描き、実現させていくのか。そして、ビジネスに求められる変化のスピードに対応するために、ITリーダーはどのような役割を求められるのか。第一線で変革を推進する白石様より、ご講演頂きます。

11:00
-12:00
基調講演

新たな競争優位性の獲得に向けて

ITでイノベーションをリードし、新たな競争優位性を獲得する
～AI（人工知能）や先端技術を素早く取り込みビジネス価値を生み出すクラウド・プラットフォーム～

■ AI（人工知能）などの先端技術をいかにビジネスに組み込むか

■ 事例からの考察 ～イノベーションをリードする“自社に最適なハイブリッド・クラウド”～

日本アイ・ビー・エム株式会社 取締役専務執行役員 IBMクラウド事業本部長 三澤 智光 氏

プロフィール

1987年4月に富士通株式会社入社。1995年5月に日本オラクル株式会社へ入社し、2000年に執行役員 パートナー営業本部長 兼 ソリューション統括部長を務める。その後、2011年に専務執行役員 テクノロジー製品事業統括本部長、2014年に副社長執行役員 データベース事業統括、2015年12月に執行役 副社長 クラウド・テクノロジー事業統括を歴任。2016年7月より日本アイ・ビー・エム株式会社 取締役専務執行役員 IBMクラウド事業本部長へ就任し、現在に至る。

講演内容のポイント

ビジネスのスピードアップ、ITのグローバル化、セキュリティの強化、パフォーマンスの向上など、ITでビジネスを変革し、新たな競争優位性を生み出すために、どのようにITを活用していけばよいのか。基調講演として、本セッションでは、先端技術の代表例であるIBM Watsonなどのコグニティブ技術やAI（人工知能）をビジネスに紐込むことで、イノベーションをリードし、新たな競争優位性の獲得をするために重要な視点やポイントをお話いたします。いまや、その実現に不可欠な「自社に最適なハイブリッド・クラウド」をどう構築し、活用するかについて、様々な取り組み事例とともに、具体的なヒントをお持ち帰り頂ければと存じます。

12:00-13:00 | Lunch Break

13:00
-14:00
特別講演Ⅱ

グローバルビジネス×IT戦略

コニカミノルタにおけるグローバルIT戦略 ～ビジネスに貢献するITマネジメント～

■ グローバルITガバナンスの現状と課題

■ 「攻め」と「守り」のIT施策をどう両立するか

■ ITビジネスへの対応と活用事例

コニカミノルタ株式会社 執行役 IT企画部長 田井 昭 氏

プロフィール

1981年 小西六写真工業株式会社（現コニカミノルタ株式会社）入社、2007年にKonica Minolta Business Solutions U.S.A., Inc. 上級副社長へ就任。2009年にコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社 開発本部 ソリューション開発センター システムソリューション部長、2011年にコニカミノルタホールディングス株式会社 IT業務改革部長、2013年にコニカミノルタ株式会社 IT業務改革部長、2014年に同社 執行役 IT業務改革部長を歴任。2015年4月に同社 執行役 IT企画部長へ就任し、現在に至る。

講演内容のポイント

海外売上比率8割、販売・サービス拠点150ヶ国と、グローバルビジネスを確立しているコニカミノルタ。世界に散らばる拠点、事業をプロジェクトごとの“点線”での管理体制ではなく、ITで横串を刺して“実線”にすることで、ガバナンスの強化に取り組む等、グローバルの経営基盤を支えるIT戦略を推進してこられました。そして同社は現在、さらなる成長のために“守り”のIT施策にも取り組みながら、よりビジネスに付加価値をもたらす「攻め」のITとは何か」を模索していच्छいます。この度は同社のITリーダーとして戦略全体を統括している田井様より、ビジネスに貢献するITマネジメントについて、取組み事例をもとにご講演頂きます。

14:00
-15:00
特別講演Ⅲ

先端テクノロジーの活用

パナソニックのIoT、AI戦略 ～コトづくり起点のイノベーション

■ パナソニックにおけるIoT、AI活用の取り組み

■ 先端テクノロジー戦略の策定ポイント ～コトづくりファースト

■ 変革をいかに推し進めていくか

パナソニック株式会社 全社CTO室 ソフトウェア戦略担当 理事 梶本 一夫 氏

プロフィール

1986年3月京都大学大学院工学研究科情報工學専攻修了、同年松下電器産業株式会社（現パナソニック株式会社）入社。中央研究所情報グループ配属となりOSのマルチメディア機能開発に従事。その後、ビデオ編集システム、音楽配信システム、デジタル放送送出設備開発に従事の後、2007年4月システムエンジニアリングセンター所長、家電ソフトプラットフォーム開発やソフトウェアプロセス研究、オープンソース利活用、クラウド技術開発推進等に従事。2014年10月現職となり、ソフトウェアの全社戦略策定・推進を担当。

講演内容のポイント

モノづくり企業からコトづくり企業へーパナソニックは、IoTやAIなどの先端テクノロジーを活用し、モノではなくヒトを中心に据えた「コトづくり」を起点としたイノベーションに取り組んでいます。同社はテクノロジー活用により、どのようにコトづくり企業への変革を成し遂げようとしているのか。また、その変革を支える戦略はどのように策定しているのか。同社のIT活用において、ソフトウェアの全社戦略を策定・推進していच्छる梶本様より、先端テクノロジーをビジネスに組み込んで、新たな価値を生み出すための戦略策定の秘訣やヒントについて、今ITリーダーが持つべき視点を含め、お話しします。

15:00-15:20 | Coffee Break

15:20
-16:50
パネルディスカッション

今後のITリーダーのあるべき姿

経営機能としてのITリーダーの役割とは

ITリーダー×組織変革

ITリーダー×テクノロジー

ITリーダー×未来展望

■ 組織をどう動かすか ～変革を浸透させるためのポイント

■ デジタル・トランスフォーメーション時代のITマネジメント

■ これからのCIO・ITリーダーはどうあるべきか など

ヤンマー株式会社 執行役員 経営企画ユニット ビジネスシステム部 部長 矢島 孝應 氏

プロフィール

1979年 松下電器産業（株）（現パナソニック（株））入社。三洋電機（株）を経て2013年1月にヤンマー（株）に入社。その間、アメリカ松下電器5年、松下電器系合弁会社取締役3年、三洋電機（株）執行役員、関係会社社長3年を経験。ヤンマー（株）入社後、執行役員ビジネスシステム部長就任。2015年7月より、ヤンマーホールディングス（株）ビジネスシステム部ゼネラルマネジャーを兼務。

アサヒビール株式会社 経営企画本部 デジタル戦略部 部長 松浦 端 氏

プロフィール

1992年アサヒビール株式会社入社。首都圏本部で6年間の物流部門に所属し、需給調整業務を担当。その後本社に異動し、営業部、事業推進部、経営企画部、流通部を経て、2014年9月から現職。本社スタッフとしてのキャリアが長く、主に新規事業開発や新取引制度の構築などを担当してきた。デジタル戦略部ではデジタル技術、データ活用により取引先への付加価値向上や社内機能強化に取り組んでいる。

パネリスト

パネリスト

パネリスト

モデレーター

大和ハウス工業株式会社 執行役員 情報システム部長 加藤 恭滋 氏

プロフィール

1978年大和ハウス工業入社。経理部門に配属され、2000年問題の対応のため会計システム刷新のプロジェクトマネージャーを担当。2008年J-SOX推進室長としてERP導入プロジェクトの責任者を務め、2010年より情報システム部長就任。2011年に執行役員に就任し、現在に至る。

日本アイ・ビー・エム株式会社 取締役専務執行役員 IBMクラウド事業本部長 三澤 智光 氏

プロフィール

1987年4月に富士通株式会社入社。1995年5月に日本オラクル株式会社へ入社し、2000年に執行役員 パートナー営業本部長 兼 ソリューション統括部長を務める。その後、2011年に専務執行役員 テクノロジー製品事業統括本部長、2014年に副社長執行役員 データベース事業統括、2015年12月に執行役 副社長 クラウド・テクノロジー事業統括を歴任。2016年7月より日本アイ・ビー・エム株式会社 取締役専務執行役員 IBMクラウド事業本部長へ就任し、現在に至る。

ジャーナリスト 松岡 功 氏

プロフィール

フリージャーナリストとして「ビジネス」「マネジメント」「IT」の3分野をテーマに、複数のメディアでコラムや解説記事を執筆中。1957年生まれ、大阪府出身。電波新聞社、日刊工業新聞社などで記者およびITビジネス系月刊誌の編集長を歴任後、フリーに。危機管理コンサルティング会社が行うメディアトレーニングのアドバイザーも務めている。主な著書は「サン・マイクロシステムズの戦略」（日刊工業新聞社、共著）、「新企業集団・NECグループ」（日本実業出版社）、「NTTドコモリアルタイム・マネジメントへの挑戦」（日刊工業新聞社、共著）などがある。

豪華ゲスト講演、多数!! ITでビジネスに新たな価値を生み出すために、今ITリーダーが持つべき視点とは? ◀ プログラム詳細はこちら ▶